

「新温泉町文化財保存活用地域計画（素案）」に対する 意見募集の実施結果について

1 意見等の募集期間

令和5年3月23日（木）から令和5年4月14日（金）まで

2 閲覧件数等	①文化財地域計画・説明会参加者数	32名	
	②文化財地域計画・町ホームページの閲覧者数	65名	
	③文化財地域計画・ファイルの閲覧者数	6名	計 103名

3 意見等の提出件数

12件（2名）

4 提出方法

郵送（1名） メール（1名）

5 提出された意見等の概要

No.	意見等の概要	町の考え方
1	(1) 少子高齢化が進む中、このままでは町の自然や文化財が消えていくという危機感を持ち、先人が残した貴重な文化財の保存に町が中心となりながら、全町民が当事者として一体となって取り組むことが大切だと思う。	本計画の内容を広く周知するとともに、「方針Ⅰ-1 文化財に関わる人の輪を広げる」に基づく各種取組・事業を実施して、町民等の文化財の保存・活用に対する理解や意識の向上に努めていきます。
	(2) 新温泉町は豊富な歴史や文化の宝庫である。それぞれの年代でできることをしていくことが大切であり、自分の生まれ育った地域に「誇り」を持てる人間を育てていかなければならない。	
	(3) 先人が苦労して残した多くの貴重な本や資料が十分に活用されていないことを残念に思う。興味や関心のある人にはお宝でも、関心のない人にはゴミとしか映らない。文化財の価値が分からなくては、文化財を大切にする心や人は育たない。その価値を伝える人と場所が必要である。	

	<p>に取り組んでいきます。</p> <p>また、地域の方々が身近な文化財を知ることができるよう、自治会ごとの文化財データベースの公開・更新（事業 No. 10）、文化財に対する意識啓発等の取組への協力体制として文化財協力員制度（事業 No. 8）、文化財調査ボランティアの登録制度（事業 No. 11）の創設にも取り組んでいきます。</p>
<p>(4)</p> <p>大切な宝物である文化財の価値を、将来新温泉町を背負って立つ若い人や子ども達に体験を通して伝えていかなければならない。学校の現場はととても多忙であるため、生涯教育課と子ども教育課を中心に、公民館や青推協等の協力を得ながら、具体的な取組を提案していくことが効果的であると思う。そのためにも、生涯教育課と子ども教育課の連携と協力の太いパイプが必要である。</p>	<p>生涯教育課を中心に、子ども教育課を含めた関係各課との連携体制を整備（事業 No. 15）して、学校教育との連携（事業 No. 24, 25）や子ども用学習教材の作成（事業 No. 26）、子ども向けの歴史文化情報の発信（事業 No. 27）などに取り組んでいきます。</p>
<p>(5)</p> <p>子どもの個性や持ち味を伸ばすには、「体験」が大切である。できるだけたくさんの中から「興味・関心のあることを選ばせる」ことが裾野を広げるためにも大切である。</p> <p>公民館講座に「キッズ チャレンジ クラブ」のような講座をつくり、キャッチフレーズを「いろいろなことを体験して、自分の好きなことを見つけよう」と掲げた「子どもふるさと体験教室」を始めてはどうか。</p>	<p>地域学校協働活動やトライやる・ウィーク、コミュニティ・スクール（社会総がかりでの教育）、成果発表の場づくりなど（事業 No. 24）を通じて、体験しながら地域の歴史や文化を学ぶ、ふるさと教育の充実に取り組んでいきます。</p> <p>また、いただいたご意見を踏まえて、地区公民館等と連携した子ども向けの体験講座等の開講についても検討（事業 No. 3）していきます。</p>
<p>(6)</p> <p>但馬牧場公園やおもしろ昆虫化石館、上山高原エコミュージアムといった山の方の拠点施設をつなげたふるさと学習も進めていけると良い。</p>	
<p>(7)</p> <p>公民館講座は、以前に比べると少なくなり、特に文化的な内容が少なくなっていることを残念に思う。町内にはたくさんの芸術愛好家の方がおられ、家庭で作品を飾ったり倉庫に保管されたりしている。地区公民館が中心になってネットワークの輪を広げ、それら</p>	<p>歴史講座等の開催（事業 No. 3）にあたっては、いただいたご意見を参考に、郷土史講師育成講座の開催（事業 No. 29）などの取組と連携しながら、多くの町民の方々がさまざまな形で参加してもらえる方法を検討していきます。</p>

	を鑑賞する場を準備したり、講師を依頼するなどして、できることから始めていくことが大切である。	
(8)	いくらイベントや事業をしても、地域の高齢者はその会場に行く交通手段がないという課題がある。奥八田の地域コミュニティのように、バスの配車等の支援が必要である。	地域の方々の意見を聴きながら、町内周遊モデルコースと連動した公共交通相互の連携や移動手段の確保(事業 No. 57)などの取り組みの中で検討していきます。
(9)	参画と協働も、人はメリットを感じられないと動かない。参加することのお得感を感じられることが大切である。	意識啓発を通じて、歴史文化を身近に感じ、本物の文化財に触れられること自体にメリットを感じられるような気運を高めていきたいと考えています。 また、普段は見ることができない文化財を見て触れたり、特別な体験ができる取組み(事業 No. 58)などにおいて、お得感を感じられるメニューについても適宜検討していきたいと思います。
(10)	浜坂県民サンビーチは、きれいにしてもすぐにゴミが散乱していく。例えば「古い文化財が似合う、美しい町づくりに取り組もう！」というスローガンのもとに、「ごみを出さない町づくり。みんながゴミを見たら、拾う。」というような、みんなが心がければできる目標を掲げていくことが大切である。観光客が、「新温泉町に来て、ごみを出すのは恥ずかしい」と思うような雰囲気と環境づくりを進められると良い。	いただいたご意見を参考にしながら、引き続き自然公園・景勝の保全活動(事業 No. 39)を推進していきます。

No.	意見等の概要	町の考え方
2	(1) 「伝統を守らなければならない」から「伝統を続けたい」という意識に今の世代がなること。または、学習した子どもたちがそう思えることをベースにカリキュラムにしてほしい。 例えば、麒麟獅子舞に根強い人気があるのは、やっている大人がかっこよく見えるのだと思う。そういう取り組みを先代となる大人	文化財の次世代の担い手や保存・活用を中心となる人・団体を育む学校教育と連携した「ふるさと教育」の推進(事業No. 24, 25, 26, 27)に取り組んでいきます。 事業の実施にあたっては、いただいた意見を参考に、子どもたちが「自分たちが生まれ育った地域の伝統文化を“続けたい、つなげたい”」と思うカリキュラムづくりを検討し

<p>がやっっていく(見せていく)ことが大切である。</p>	<p>ます。</p>
<p>(2)</p> <p>教育のプロとして、現場の先生(1校から1人以上)が参加し、客観的な意見を取り入れたカリキュラムの作成が望ましい。</p> <p>『伝統文化に関する教育指導の手引き(兵庫県教育委員会)』をもとに</p> <p>◎浜坂中学校エリア(浜坂北小・浜坂西小・浜坂東小・浜坂南小)：海のみち・浜のみち・谷のみち</p> <p>◎夢が丘中学校エリア(温泉小・照来小)：山のみち・谷のみち</p> <p>をテーマにするとより身近で、興味を持って取り組めるのではないかと思う。</p>	<p>文化財の保存・活用を図り、後世に伝えるためには、文化財を身近なものとして、多くの人に興味や関心を持っていただくことが大切です。その一つとして文化財保存活用地域計画では、地域の文化財を「舞台」と「みち」をテーマに整理しています。</p> <p>方針Ⅱ-2の推進事業、特に学校教育における歴史文化カリキュラムの検討(事業No.25)につきましては、ご意見を参考に検討していきます。</p>